

理事長 住野 勇

設立：2000年7月1日

所管：内閣府

目的及び事業：

個人の尊厳を尊重した利用者本位の在宅医療を始め医療・福祉・介護に関する各種地域サービスの提供をするため、先駆的かつモデル的な在宅医療等の事業に助成することによって地域における医療福祉および公衆衛生の向上を寄与することを目的とする。

### 2014年度活動報告

＊一般公募：在宅医療研究（92件）

＊テーマ指定型公募：（105件）

- ・人材養成のための研究会および研修会への助成（38件）
- ・地区医師会による在宅医療推進のための助成（4件）
- ・学会団体などのフォーラム・セミナー共催（16件）
- ・医療・介護の相談室作り3年計画 / 2年目（4件）
- ・市民の集いの開催助成（42件）
- ・発行済み冊子の再版への助成（1件）

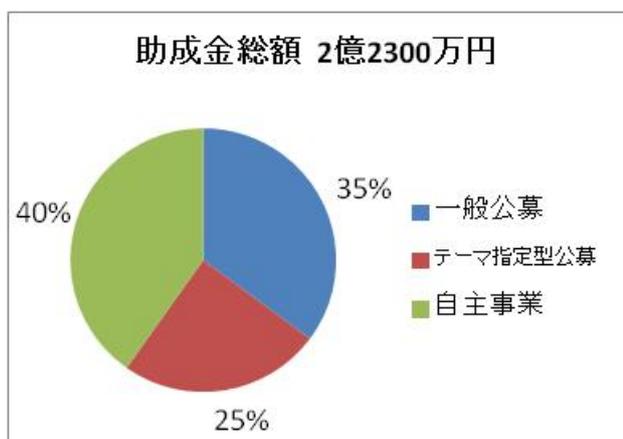


図1

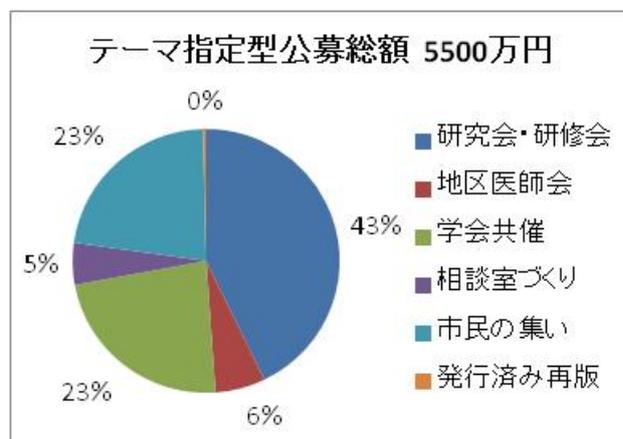


図2

＊自主事業：

- ・在宅医療テキスト改訂（2年）・e-learning・英語版作成

ワーキンググループを設け 2015 年度内にテキスト編纂、e-learning を完成する。

e-learning はパソコン、モバイルなどのスマートフォンからスライド・動画を見ることができる。

テキスト完成後、英語版の作成、アジアへの輸出を目指す。

- ・財団主催研究会

在宅医療推進のための会（年 8 回）委員 50 名（2002 年～）

小児在宅医療推進のための会（年 6 回）委員 30 名（2010 年～）

大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会（毎月）委員 25 名（2014 年～）

地域医療としての在宅医療システムを考える会（不定期）委員 6 名（2011 年～）

- ・国立長寿医療研究センターと共同主催「在宅医療推進フォーラム」名古屋開催、約 1,000 名参加  
テーマ「新しい地域社会の創造に向けて」

- ・全国 11 ブロック在宅療養支援診療所連絡会との協働による在宅医療推進フォーラムへの助成

- ・テキストなど無料配布事業

発行部数	在宅医療テキスト	183,000 部	(2006 年～)
	訪問看護活用ガイド	210,000 部	(2009 年～)
	病院から家に帰りたい	203,000 部	(2008 年～)
	暮らしの健康手帳	230,000 部	(2012 年～)
	在宅医療の知識と実際	70,000 部	(2013 年～)
	在宅医療推進ポスター	5,000 枚	(2013 年～)

- ・ゆうみカレンダー無料配布（2011 年～）

東北被災地の行政を通じて仮設所への配布と全国の高齢者向けに配布 42,000 部

- ・在宅医療を推進する 15 団体（日本在宅ケアアライアンス、Japan Home Health Care Alliance, JHHCA）の連絡事務局となる。

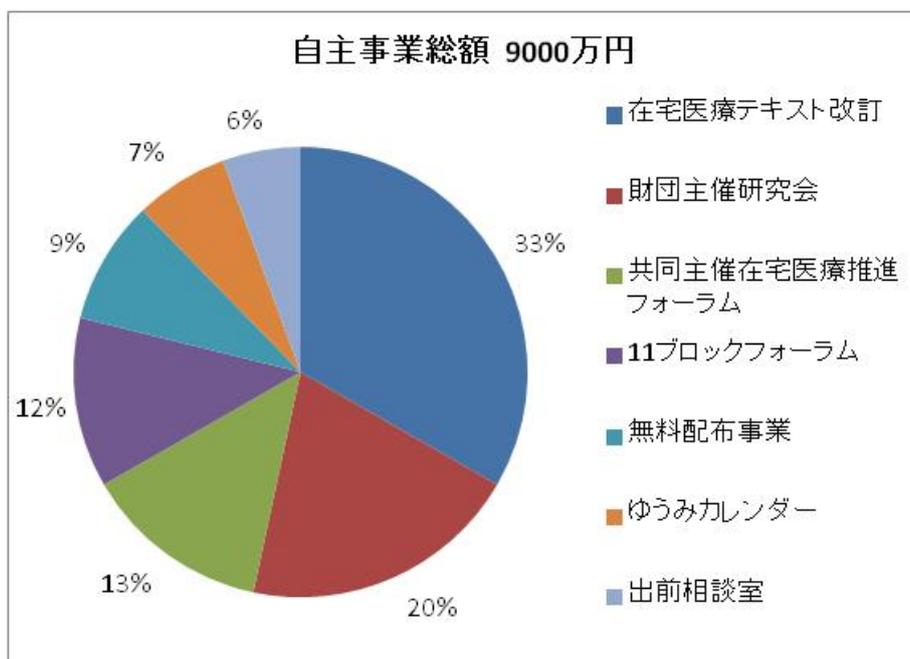


図 3